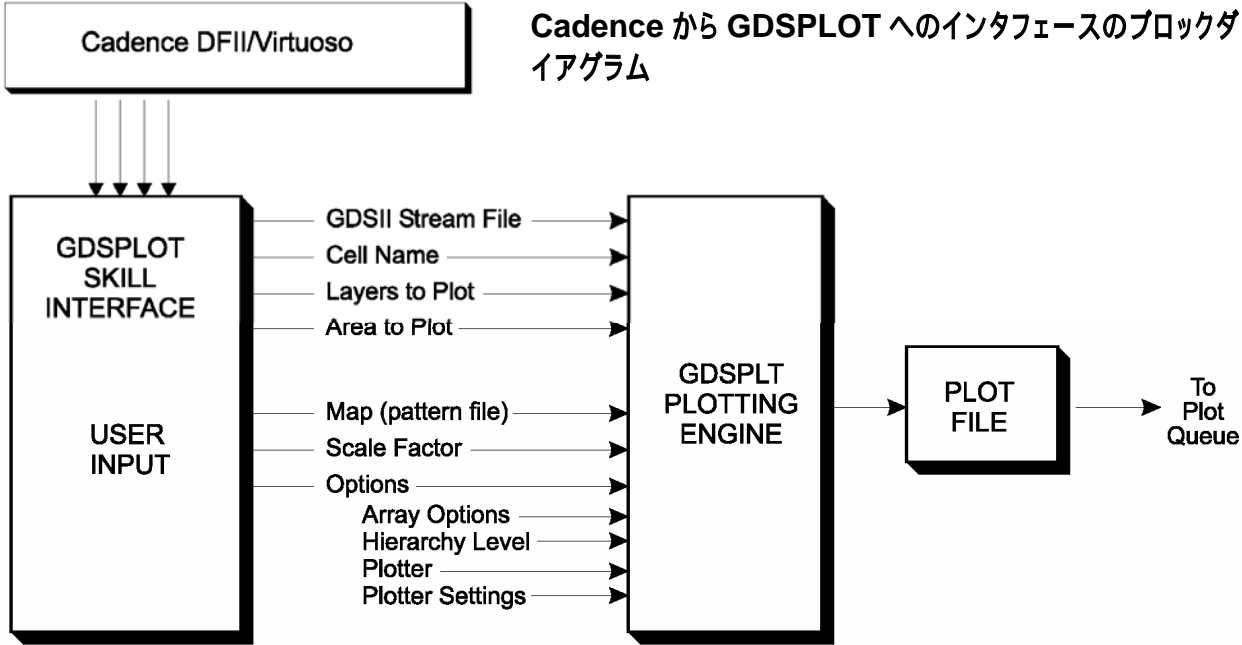


Cadence Interface to GDSPLOT



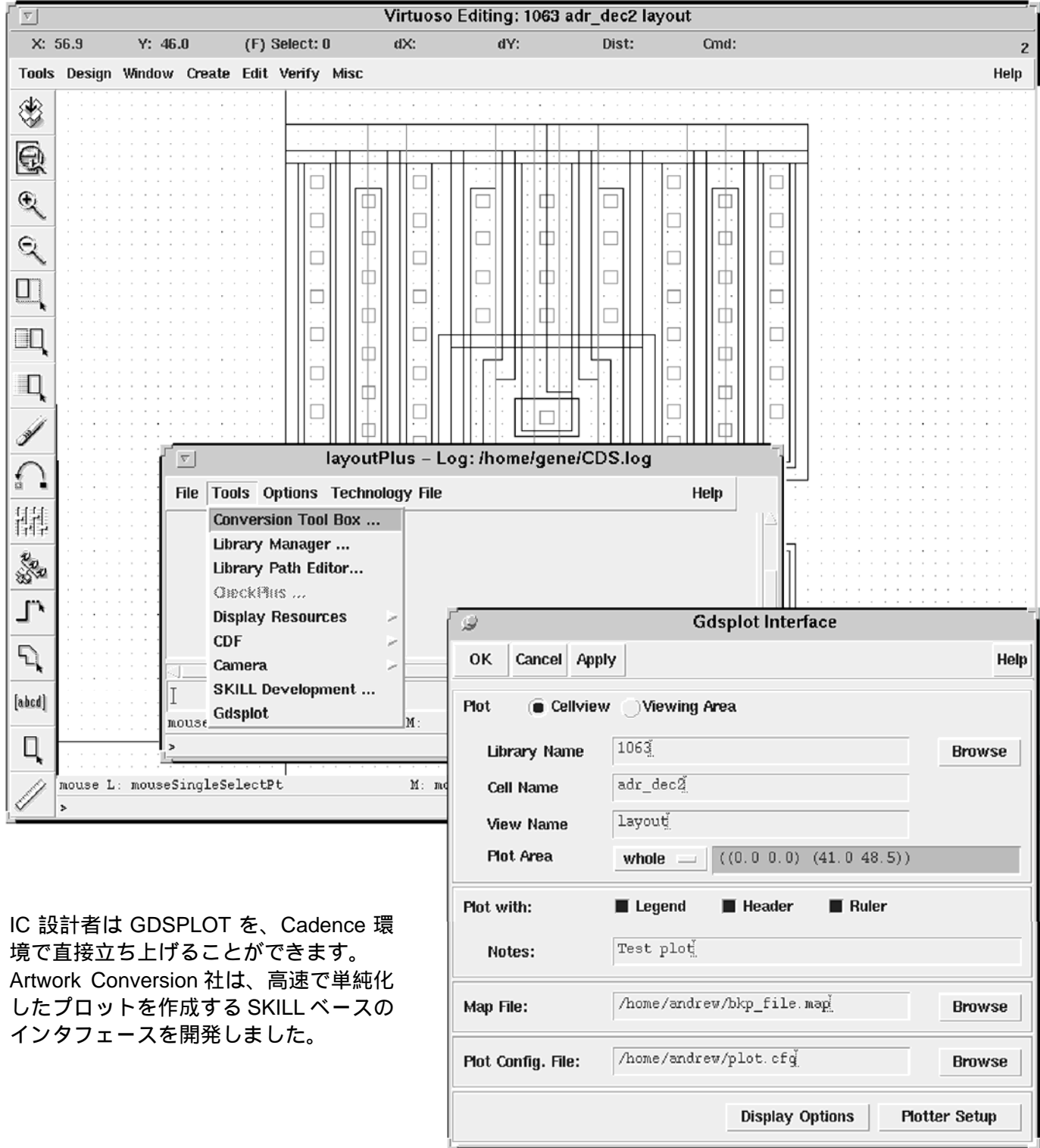
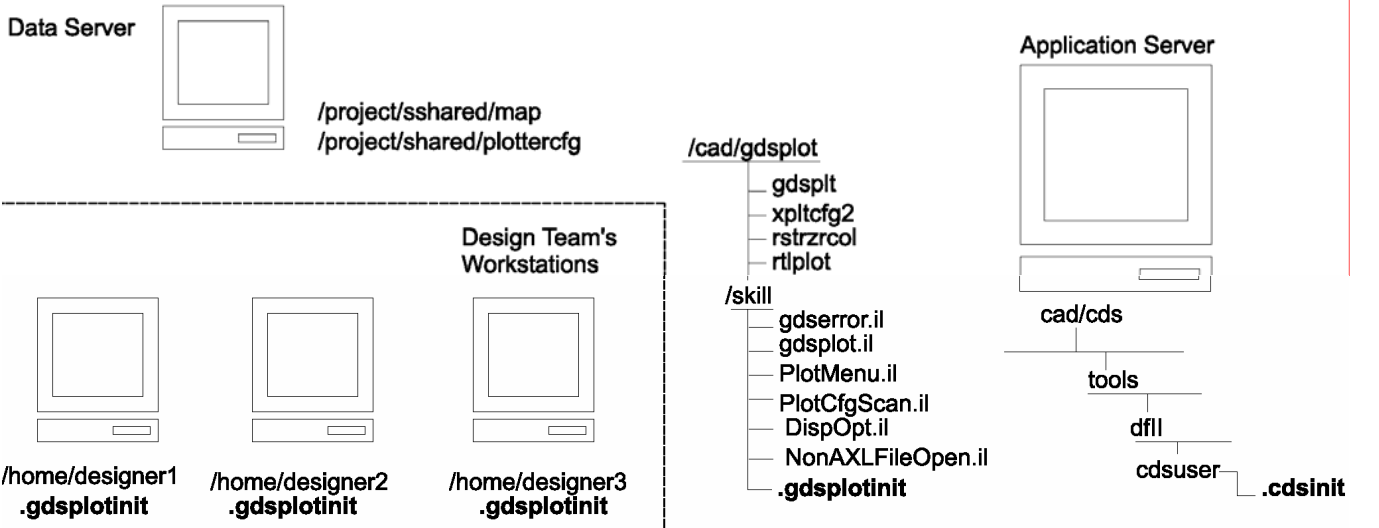
```

.gdsplotinit
WorkingDir:/tmp
MapDir:/cad/shared/mapfiles
GDSDir:/cad/gdsplot
DefaultMapFile:/cad/shared/mapfiles/default.map
DefaultPlotCfgFile:/cad/shared/pltcfg/plot.cfg
LastMapFile:/cad/shared/mapfiles/cmos3.map
LastPlotCfgFile:/cad/shared/pltcfg/hp650E.cfg

.gdsplotinit ファイルは、skill ディレクトリからの最初の読み込みファイルであり、ユーザーは各自のホームディレクトリに個別のコピーを持って、自分の設定にカスタマイズできます。このファイルは、Cadence DFIの .cdsinit と類似のルールに従っています。

.cdsinit
;;CDSINIT FILE CUSTOMIZED FOR GDSPLOT 03/16/98
;;Copyright 1998 Artwork Conversion Software, Inc.
;;All Rights Reserved
;;
setSkillPath( append( list( "/cad/gdsplot/skill" )
                    getSkillPath() ) )
if( isFile( "GdsError.il" ) )
then
    load( "GdsError.il" )
    load( "gdsplot.il" )
else
    printf( "\n### Error loading error
            lookup table for Gdsplot ###\n\n" )
);if
;;END GDSPLOT CUSTOMIZATION
    
```

インストールとコンフィギュレーション



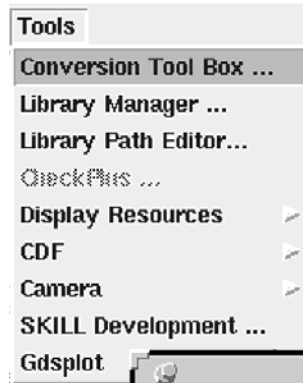
IC 設計者は GDSPLOT を、Cadence 環境で直接立ち上げることができます。Artwork Conversion 社は、高速で単純化したプロットを作成する SKILL ベースのインターフェースを開発しました。

国内代理店：
株式会社アノバ・ソリューションズ
神奈川県横浜市港北区新横 3-8-11
Tel: 045-349-5703 Fax: 045-349-5704
E-mail: yamamoto@anova-solutions.com

開発元：
ARTWORK CONVERSION SOFTWARE, INC
417 Ingalls St., Santa Cruz, CA 95060, USA
Tel: 831-426-6163 Fax: 831-426-2824
Email: info@artwork.com
www.artwork.com

ARTWORK CONVERSION SOFTWARE, INC.

ユーザーインターフェイス



インストールが完了すれば、Tools プルダウンの GDS PLOT 選択を使ってプロットを開始できます。

Cell View - 作図対象セルの占める範囲全体をプロットします。

Viewing Area - 画面に見える範囲と同じ区域をプロットします。

Library 名 と Cell 名 は、現在のレイアウト・セッションから直接得られたものです。

Plot Area - セル範囲全体（自動的に判断される）をプロットするか、あるいは、座標をタイプして指定したセルの一部だけか、マウスでウィンドウを区切ってプロットします。

Legend (説明文) - フィルパターンと、そのレイヤー名の見出しです。

Header - プロットに関する情報です。: scale, cell name, time, date, scale, layers plotted...

Ruler - プロット図の場所を選んだり寸法を測るための、スケールの付いた軸です。

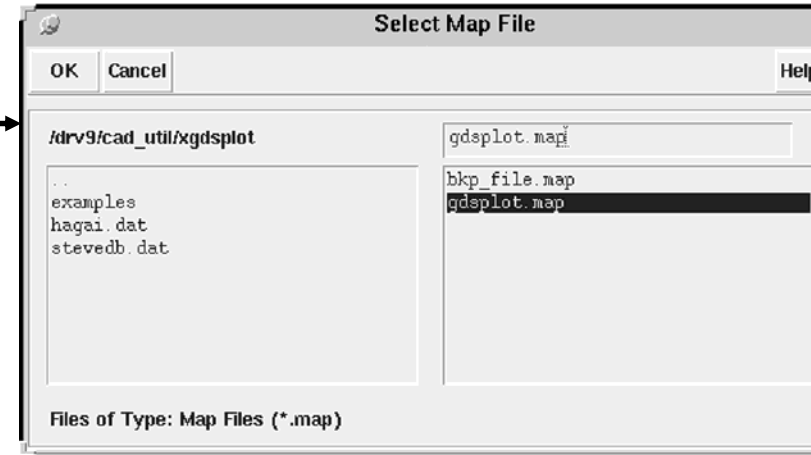
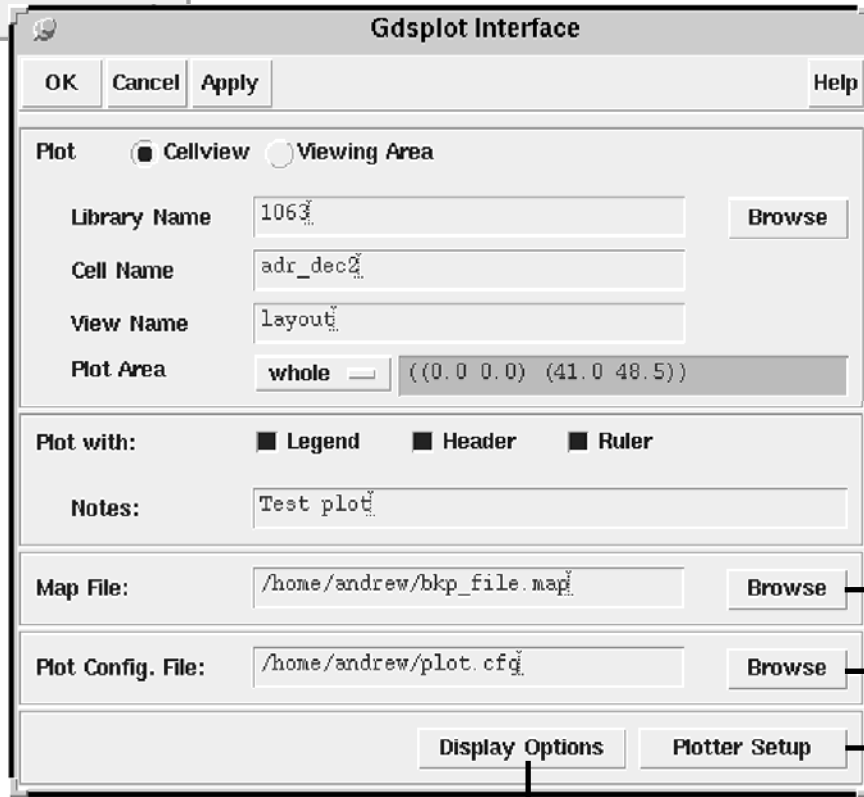
Notes - プロット・ヘッダーに出したいテキスト内の特定の文字列です。

Array : Full Design - アレイ全体の要素をプロットします。
 Outer Rows/Columns - 外側の行と列だけをプロットします。
 Outline - 各アレイを囲むボックスだけをプロットします。

Display Level - 大規模なチップでは、階層の一部だけをプロットしたい場合があります。ここにはプロットしたい階層までのレベル数を指定します。

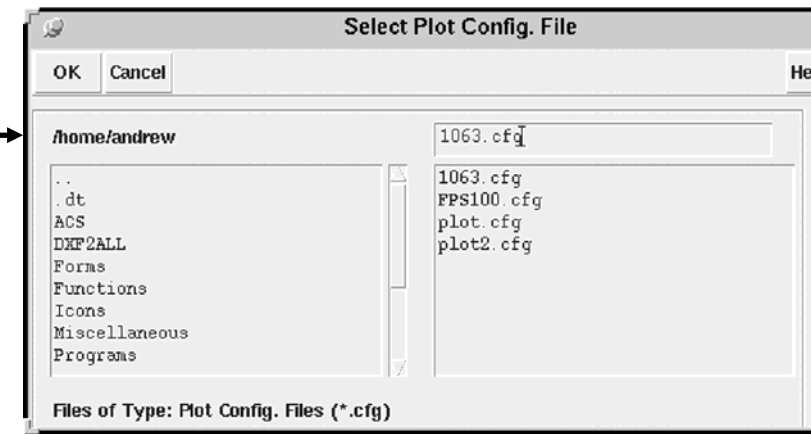
Scale Factor - プロットするスケールファクター(拡大/縮小率)を入力します。ゼロを指定すると、ページサイズに合わせて、自動的に出力サイズが設定されます。

Calculate Area - プロットのサイズを計算します。実際と合致しているかどうかのチェックになります。

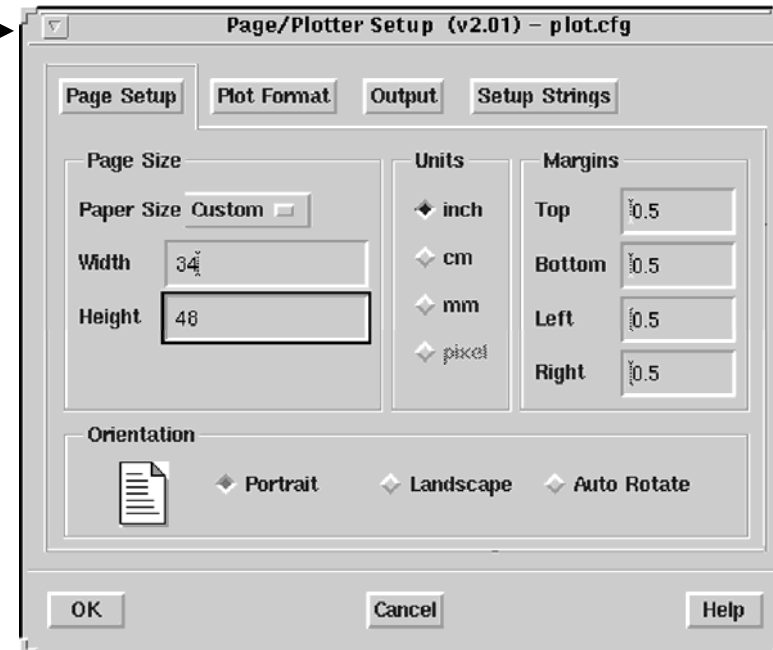


Map File にはレイヤーに対応するフィルカラー（塗潰し色）の割当てを入れます。通常、会社ごとにプロセスごとのフィルパターンの標準を決めています。この方法をとっておけば、一カ月経って比べても混乱を避けることができます。

GDSII Layer	Fill Pattern	Outline Index	Outline Color
1	103	1	6
2	101	1	7
3	98	0	1
4	67	4	1



Plotter Config. File には、プロット出力タイプ（HP インクジェットでは通常 RTL）、ページサイズ、座標原点、プロット・キュー名、その他のプロット出力に関するいくつかの項目が入っています。もし、オンサイトに複数のプロッターがあるならば、目標のプロッターを選択するためにコンフィギュレーション・ファイルも複数用意することができます。



Page/Plotter Setup ダイアログを使えば、プロッター言語、ページサイズ、マージン、プロット・キュー、および座標原点が定義できます。通常、この情報は 1 回指定すれば何回でも使用できるように plot.cfg ファイルにセーブしておけます。

